



ズなども食べたそうです。『首都消失』『日本沈没』などで

有名なSF作家の小松左京の猫は生野菜しか食べず、八百屋からなすやピーマンを盗んでは追いかけていたというベジタリアンキャット。でも2015年度ノーベル文学賞受賞のアレクシエービッチ『チェルノブイリの祈り』にも畑の野菜を食べる猫の話がでますから野菜を食べるのは意外と珍しくないのかもしれませんが。

直木賞作家の神吉拓郎の猫はコーヒーを好み、熱い焼き芋を半分は食べてしまう猫舌ではない猫でした。ノーベル文学賞を受賞し

た、『老人と海』などで知られるヘミングウェイの猫好きは有名。彼の愛猫ボイシーはオイルとビネガーのドレッシングがたっぷりかかったアボカドや冷たいマンゴー、ビタミンBのカプセルまで好んで食べたそうです。

飛行機事故で急逝してしまった直木賞作家向田邦子の愛猫は魚屋からとどいたトビウオ10キロを「プロ用のズン胴なべで何回にも分け薄味で煮付けて、荒熱が取れるのを待って1回分ずつポリ袋に冷凍しないといけなかった。彼女は台所で三時間奮闘したらしいです。



『道化師の恋』などで有名な作家金井美恵子の猫は平

貝、タコ、赤貝、アオヤギと小岩井ヨーグルトなどで冷凍の魚は一切食べない。彼女はメバル、カレイ、甘エビ、イセエビなどをクール宅急便で取り寄せて食べさせているとか。人間より上等なものを食べていますね…。

日本小説の猫

ドラエもんは猫型ロボットだし、『となりのトトロ』のネコバスだって国際的に有名。そんな日本の小説にでてくるネコは

『世界から猫が消えたなら』川村元気著 マガジンハウス 2012

余命7日と宣告された青年が、悪魔に世の中から何か一つ消せば一日寿命を延長できると言われます。今まで自分が生きてきたなかでどれが必要でどれがいらなかった？初恋、母の思い出、あきらめた夢？ことばを話せない、人間によりそうネコがいとしいです。

今年5月に佐藤健と宮崎あおいで映画化。

『旅猫レポート』有川浩著 青い鳥文庫 2015

余命わずかの飼い主と猫の、新しい飼い主を探す旅。飼い主の青年がいいひとすぎたり、ラストがわかっているけど号泣必至です。

『四畳半神話大系』森見登美彦著 角川文庫 2005 では猫から出汁をとっている

といわれる猫ラーメンを出す屋台が登場します。モデルとなる屋台もあるとか。

『キャットフード』森川喜著 講談社文庫 2013

化け猫が新鮮なキャットフードを売り出す計画を立てました。その材料とはなんと、人間！人間を殺して缶詰にして売り出すため、とある孤島に人間を誘い込むのだが、そのなかに人間に恩義を感じる化け猫が混じっていて…。ネコ同士の化かしあいが面白い一冊。ちょっと宮沢賢治の『注文の多い料理店』を思い出しますね。宮沢賢治はネコ嫌いだったそうです。志賀直哉（友人の谷崎がまた猫好きでいや～な顔をしていた）、下母沢寛もチェーホフも。

『猫と庄造と二人のおんな』谷崎潤一郎著 新潮文庫 1980

おんなよりもペルシャ猫のリリーの方がなまめかしののがすごい。

『猫にかまけて』町田康著 講談社文庫 2010

「猫を好きなのは“犬人間”で、犬が好きなのは“猫人間”なんですよ。“犬人間”は犬のように誰かに尽くすのが好き。相手に一生懸命、何かしてあげたい人。だから、猫を世話し、尽くすのが我



3月15日 (火)

13:00~14:30

第6回松蔭読書会を実施

します。

現在、カウンターで課題図書の設定投票を実施中です。(1月末まで)。



毎回好評の課題図書に関連するお菓子も作る予定です。



ネコ以外にも！

王子動物園の動物ガイドツアーを1月19日(火)まで募集します。

飼育係や獣医さんからえさや飼育方法など動物園の貴重な裏話が聞けます。動物好きな人、ぜひ申し込んでください。

詳細はカウンターまで

が身の喜び、幸せなんです。逆に“猫人間”は誰かに何かしてもらるのが好き。だから犬が忠実になつてくれるのがうれしい」という町田さん本人は自称“犬人間”だそうです。

『吾輩は猫が好き』野坂昭如著 中公文庫 2001

猫ほど絵になる生きものも他に求めがたいそうです。

現実の猫を知る

『ブルース・フォーク博士のわかりやすい猫学』

ブルース・フォーク著 インターズー 2005

猫の起源、品種、行動、猫との暮らし、病気などカラー写真豊富で見ごたえ十

分の楽しい本です。

『猫ちゃんを救え！人にも猫にも優しい街づくりを提案』松浦美禰子著 人類文化社2001

殺処分される頭数が犬より増えた猫。どうすれば野良猫

をめぐるトラブルを解決できるのか、「地域猫」という方法を紹介。

さくら耳って知っていますか？耳にさくらの花びらのように切込みをいれた猫のことです。不要に殺処分される子猫を増やさないう、不妊手術をうけた猫の

『イヌネコにしか心を開けない人たち』香山リカ 幻冬舎新書2008

猫好きはやさしいか？

ことです。

動物愛護活動はときとして動物以外、つまり人間への嫌悪や敵意などと表裏一体となる危険性があるそうです。だんなより猫のお葬式にお金を掛けた作家の話がでます。

『ラオスにいったい何があるというんですか？』村上春樹著 文藝春秋 2015

村上春樹の最新作。世界各国の紀行文です。熊本の書店で朗読会をした理由がそこのかわいい看板猫に会いたかったからという村上さん。神戸にも魅力的な猫の、こちらは古本屋があります。灘駅ちかくのワールドエンズガーデンという、品揃えの良い古本屋です。

